

《耐震診断の結果の公表【要緊急安全確認大規模建築物(新居浜市)】》

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、公表します。

■学校(小学校、中学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校)

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	金栄小学校 (校舎本棟)	新居浜市西の土居町一丁目5番1号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.35 Ctu・Sd=0.66	-	-	耐震改修済み
2	泉川小学校 (校舎北棟、南棟)	新居浜市岸の上町一丁目13番68号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.71	-	-	耐震改修済み
3	大生院小学校 (校舎本棟)	新居浜市大生院1070番地の1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.37 Ctu・Sd=0.68	-	-	耐震改修済み
4	金子小学校 (校舎北棟、中棟、南棟)	新居浜市久保田町一丁目3番57号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.65	-	-	耐震改修済み
5	高津小学校 (校舎北棟、南棟、管理棟)	新居浜市宇高町二丁目13番7号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.33 Ctu・Sd=0.68	-	-	耐震改修済み
6	浮島小学校 (校舎北棟、南棟東、南棟西)	新居浜市八幡二丁目2番65号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.65	-	-	耐震改修済み
7	惣開小学校 (校舎東棟、西棟)	新居浜市王子町1番3号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.29 Ctu・Sd=0.63	-	-	耐震改修済み
8	神郷小学校 (校舎北棟東、北棟西、西棟)	新居浜市神郷一丁目1番1号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.35 Ctu・Sd=0.55	-	-	耐震改修済み
9	中萩小学校 (校舎北棟東、中棟、南棟)	新居浜市中萩町6番61号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.44 Ctu・Sd=0.71	-	-	耐震改修済み
10	角野小学校 (校舎東棟、中棟東、中棟中央、中棟西、西棟)	新居浜市中筋町二丁目7番10号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.67	-	-	耐震改修済み
11	北中学校 (校舎本棟東、本棟西)	新居浜市宮西町5番81号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.33 Ctu・Sd=0.53	-	-	耐震改修済み
12	泉川中学校 (校舎本棟)	新居浜市星原町7番8号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.33 Ctu・Sd=0.68	-	-	耐震改修済み
13	中萩中学校 (校舎東棟、西棟)	新居浜市中萩町13番31号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.37 Ctu・Sd=0.71	-	-	耐震改修済み
14	川東中学校 (校舎北棟、東中棟、西中棟、南棟)	新居浜市神郷二丁目4番1号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.75	-	-	耐震改修済み

《耐震診断の結果の公表【要緊急安全確認大規模建築物(新居浜市)】》

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、公表します。

■ 体育館(一般公共の用に供されるもの)

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	市民体育館	新居浜市東雲町一丁目1番25号	体育館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.74	-	-	耐震改修済み

■ 病院、診療所

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	十全総合病院	新居浜市北新町1番5号	病院	-	-	-	-	耐震改修済み
	救急棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.12 Ctu・Sd=0.63	-	-	耐震改修済み
	リハビリ棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.12 Ctu・Sd=0.63	-	-	耐震改修済み
	渡り廊下棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.11 Ctu・Sd=0.30	-	-	耐震改修済み
2 (欠番)								対象建築物 除却済み(建替え)
3	県立新居浜病院 (本院A棟、B棟)	新居浜市本郷三丁目1番1号	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.22 Ctu・Sd=0.66	-	-	耐震改修済み

■ 百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1 (欠番)								対象建築物 除却済み(建替え)

《耐震診断の結果の公表【要緊急安全確認大規模建築物(新居浜市)】》

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、公表します。

■幼稚園、保育所

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	聖マリア幼稚園 (A棟、B棟、C棟)	新居浜市繁本町8番16号	幼稚園	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is0=1.00 Ctu・Sd=0.29	-	-	耐震改修済み

■保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	市庁舎	新居浜市一宮町一丁目5番1号	公益上必要な建物	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(鉄骨・充腹材)	Is/Is0=1.29 Ctu・Sd=0.61	-	-	耐震改修済み

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。	II. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。	III. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$Is/Is0 < 0.5$ 又は $Ctu \cdot Sd < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is0$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq Ctu \cdot Sd$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版) 鉄骨が充腹材の場合	$Is/Is0 < 0.5$ 又は $Ctu \cdot Sd < 0.125 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is0$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq Ctu \cdot Sd$
鉄骨が非充腹材の場合	$Is/Is0 < 0.5$ 又は $Ctu \cdot Sd < 0.14 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is0$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq Ctu \cdot Sd$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq Is$ かつ $1.0 \leq q$

I. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

II. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

III. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

(※)震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては、損傷が生ずるおそれや倒壊するおそれは少ない。

(※)『構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果』の欄に記載の、Is/Is0に用いるIs0は、一律、Z(地域指標)=0.9、U(用途指標)=1.0として算定した。